



やってみよう

鼻<sup>はな</sup>の「あな」はどこにある？ しるしをつけてみよう

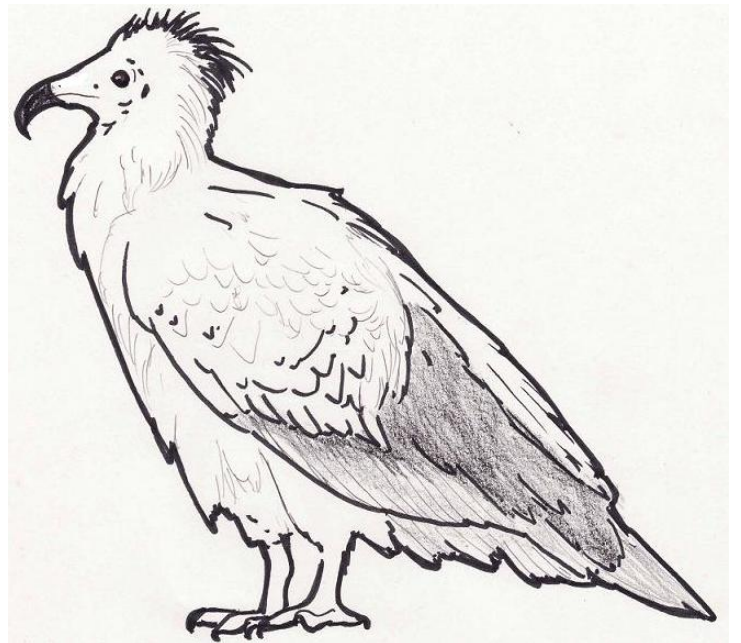


1 アフリカヘラサギ  
(あふりかへらさぎ)



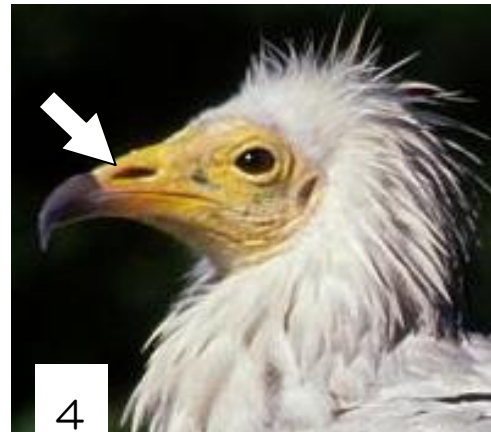
2 ハシビロコウ  
(はしびろこウ)

3 ヘビクイワシ  
(へびくいわし)



4 エジプトハゲワシ  
(えじぷとはげわし)

こたえ それぞれくちばしの上にあります、少しずつ位置がちがいます



- 1 アフリカヘラサギについて : 「サギ」と名がついていますが、トキのなかまに分類されています。英語では、スプーンビル(spoonbill)といい、その名のとおり、スプーンのようなくちばしをもった鳥とよばれています。くちばしの先を水の中につけて左右に振り、くちばしに触れた魚やカエル、カニなどを食べます。アフリカ大陸とユーラシア大陸に生息しています。鼻孔はくちばしの上部にあります。
- 2 ハシビロコウについて : くちばしの上部、中央からやや離れたところ、目のやや斜め下にほそく切れ目がありますが、それが鼻孔です。大きく見えますが、体重は約5kg です。動物科学館の2階特別展示室には、ハシビロコウの剥製と卵の標本があります。アフリカ中央部のパピルスが生える沼地に生息しています。この大きなくちばしでハイギョなどを食べて暮らしています。
- 3 ヘビクイワシについて : アフリカのサハラ砂漠より南の草原に暮らす、ワシやタカなど「猛禽」のなかまです。大きな昆虫や小型の哺乳類、トカゲなどを食べます。名前のとおり、ヘビも食べますが、長い足で草のしげみを踏んで獲物を追い出し、獲物を何度も踏みつけて食べます。まるで羽根ペンが何本も並んだような冠羽が特徴です。
- 4 エジプトハゲワシについて : アフリカ大陸・西アジアに生息する、「猛禽」のなかまです。ハゲワシのなかまの多くがそうであるように、死んだ動物の肉などを食べるため、目やのどには羽毛がなく、皮膚が露出しています。大きなダチョウの卵を、石を使って割って食べることが知られています。鼻孔は大きく、横長の形になっています。

## ちょっとお得な情報

### 鳥の鼻孔のいろいろ

鳥の鼻孔は、呼吸のためだけではなく、海中を自由自在に泳ぐことのできるペンギンは、海水中の不要な塩分をこの鼻孔から捨てることができます。海にくらす鳥たちは、海水から水分をとって生きていかなければなりませんから、目の近くにある「塩類腺」といわれる「ろ過装置」のようなもので水分だけをこしとるのです。よく、くちばしを左右に振っているペンギンの姿が見られますが、こうして振ることによって塩分を飛ばしているのです。

ニュージーランドのキーウィという鳥は、において落ち葉の下や土の中の虫を探し出して食べるため、くちばしの先端に鼻孔があります。

また、カワウやウミウなど「ウ」は、鼻孔そのものがありません。潜水するときに鼻孔は不必要だからだといわれています。



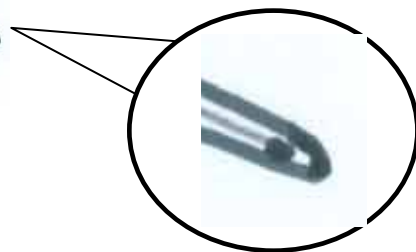
ウのなかま：鼻孔は  
ありません



タンチョウ：左右の鼻孔はつ  
ながっていて、横から見ると向こ  
う側が見えます



キーウィ：鼻孔は  
くちばしの先端です





しらべてみよう

がっこう とり いえ とり みぢか とり  
学校の鳥、家の鳥、身近な鳥には  
どこにあるかな？ どんなふう  
になっているかな？



ニワトリ



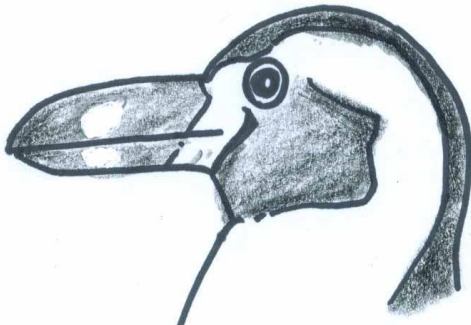
ブンチョウ



ちょうせん  
挑戦してみよう

どうぶつえん とり  
動物園のほかの鳥ではどうでしょう？

はな いち  
じっくり見て鼻のあなの位置を  
か い  
書き入れてみましょう。



フンボルトペンギン

子ども動物園にいます



コフラミンゴ

マレーバクの向かい側  
にいます



ルリコンゴウインコ

子ども動物園にいます